

特別展

# 新収蔵品展

—吉備路文学館へようこそ—



## 〈吉備路文学館 交通案内〉

JR岡山駅より：徒歩15分、タクシー3分、  
バスは岡電バス(三野・妙善寺)行、または  
宇野バス(美作方面)行で「南方交番前」下車、徒歩3分。  
車：文学館前の道路は、午前東行・午後西行の一方通行です。

2025.2.23(日) ≫ 6.8(日)

併催：企画展「吉備路の文学者と文学賞」(2階展示室)

開館：9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日：毎週月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日(2/25、3/21、4/30、5/7)

入館料：一般400円、大学・高校生300円、中学・小学生200円

\*シルバー割など各種割引あり



後援：中国銀行 岡山県郷土文化財団、岡山市文学賞運営委員会

展示関連  
イベント

講演会「川柳作家 時実新子の愛した吉井川  
～幻の手紙発見とその後」

日時：5月24日(土)13:30～15:00

講師：芳賀博子氏(川柳作家・時実新子に師事・山陽新聞「山陽柳壇」選者)

会場：吉備路文学館2階北泉ホール

定員：50名(要予約・先着順)

申込方法：お電話(086-223-7411)にて。

\*入館料でご参加いただけます。

\*なるべく公共交通機関をご利用ください。



芳賀 博子氏



吉備路文学館

KIBIJI LITERARY MUSEUM

〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-5-35  
TEL(086)223-7411 FAX(086)223-7418  
<http://www.kibiji.or.jp>



文学創造都市 おかやま



初公開



受け継がれてきた坪田譲治の万年筆

初公開



横溝正史譯  
『地下鐵サム 世界探偵小説全集7』  
(平凡社、昭和4年)

特別展

2025.2.23(日) ▶▶▶ 6.8(日)

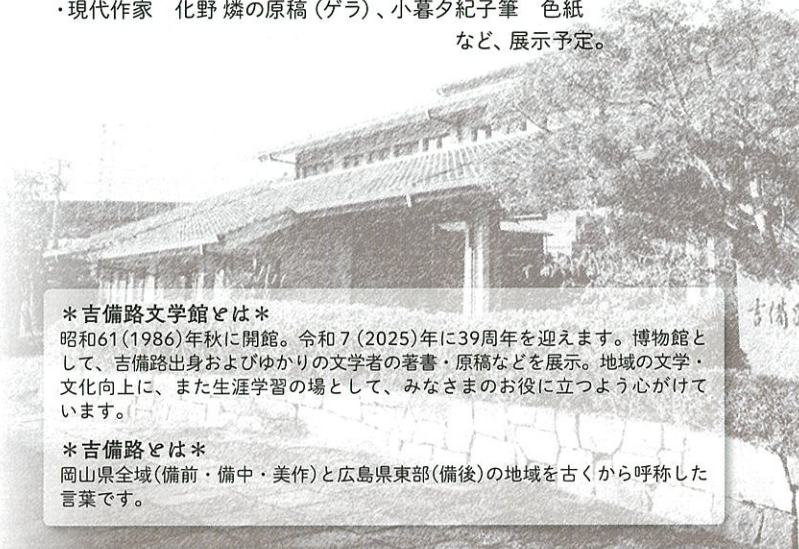
# 新収蔵品展

—吉備路文学館へようこそ—

長年、吉備路文学館は多くの方に支えられてきました。感謝の気持ちと、これからもどうぞよろしくお願い申し上げますという気持ちをこめ、近年、吉備路文学館で新たに収蔵した資料(原稿・図書・雑誌など)を展示いたします。

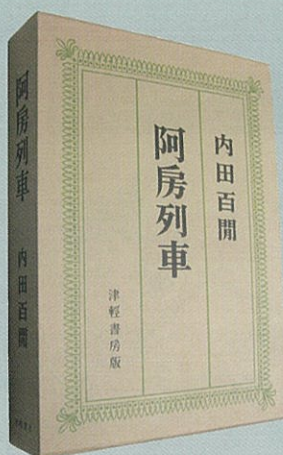
吉備路文学館では、新しい資料を「吉備路文学館へようこそいらっしやいました」という気持ちで迎えています。資料も、お客様も、吉備路文学館へようこそ。

- ・内田百閒筆 原稿「山陰本線阿房列車」と「不知火阿房列車」
- ・柴田錬三郎筆 色紙、愛用の落款印 **【初公開】**
- ・岡 一太筆 原稿「希望の歌」 **【初公開】**
- ・現代作家 化野 燐の原稿(ゲラ)、小暮夕紀子筆 色紙など、展示予定。

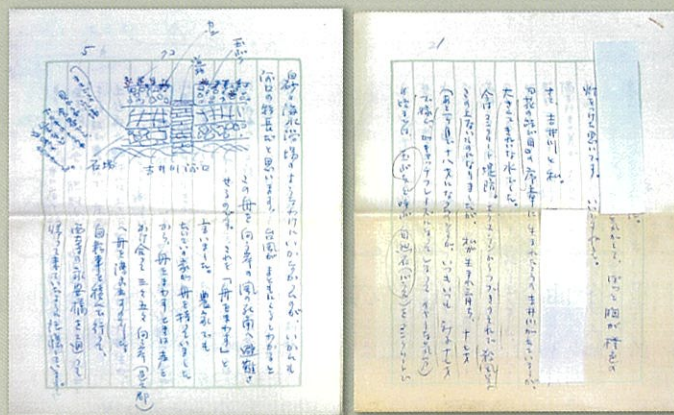


＊吉備路文学館とは＊  
昭和61(1986)年秋に開館。令和7(2025)年に39周年を迎えます。博物館として、吉備路出身およびゆかりの文学者の著書・原稿などを展示。地域の文学・文化向上に、また生涯学習の場として、みなさまのお役に立つよう心がけています。

＊吉備路とは＊  
岡山県全域(備前・備中・美作)と広島県東部(備後)の地域を古くから呼称した言葉です。



内田百閒著  
図書『阿房列車』  
(津軽書房、昭和51年)



時実新子筆 吉井川の思い出をつづった書簡(昭和59年)

## 北泉庭のご案内



うこん桜



庭の梅

吉備路文学館には、小さな日本庭園があります。館内からゆっくりながめたり、庭をめぐってみたり。四季それぞれの彩りをお楽しみいただけます。

## うこん桜だより



春、吉備路文学館の北泉庭では、うこん桜を楽しむことができます。開花は、ソメイヨシノより少し遅めの、4月上旬頃です。電話でお問い合わせいただければ、桜の今の状況など、お伝えいたします。吉備路文学館公式X(旧ツイッター)もチェックしてみてくださいね。